

The logo for TAKADA, featuring the word "TAKADA" in a bold, blue, sans-serif font. The background of the entire page is a large, stylized gear or sunburst pattern with a color gradient from yellow to purple.

株主の皆様へ

第75期 中間報告書

令和3年4月1日から令和3年9月30日まで

75

株式会社 高田工業所

証券コード：1966

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者・行政当局をはじめとする感染拡大抑止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

さて、当社グループ第75期中間期(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)の報告書をお届けさせていただきます。

当中間期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、依然として厳しい状況にある中、感染防止策やワクチン接種の促進により持ち直しの動きが継続いたしました。しかしながら、当該感染症によるサブ

ライチェーンへの影響及び長期化する半導体不足により、未だ先行きが不透明な状態が続いております。

当社グループの関連するプラント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に加え、原材料価格の上昇等の影響もあり、不透明感が残るものの、全体として設備投資動向は持ち直しました。

当中間期の売上面につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外子会社の所在する地域において活動が制限されたこと等により、連結売上高は220億9千8百万円となりました。

また、損益面につきましては、連結売上高の減少等に伴い、連結営業利益は7億1千9百万円、連結経常利益は7億2千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千6百万円となりました。

このような状況下、当社グループといたしましては、前期までの『中期経営計画』の基本方針・事業の方向性を継続し、各事業の基盤強化を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年12月

代表取締役社長 **高田 寿一郎**

人間創造 Human

技術創造 Technology

事業創造 Project

新「技・能」創造

人を育て、技術を磨き、事業を創る。

産学連携で新技術・新事業への挑戦

当社では、新技術の研究開発及び新事業の創出を目的に、産学連携を実施しております。

昨今、世の中から求められる製品や技術の内容は、時代に応じて高度化しており、わが国の産業が今後も存続・発展するためには、産学問わず、常に新たな技術や製品を生み出すことに挑戦していかなければなりません。

当社はその任務を果たすべく、産学連携のひとつとして、鹿児島大学での「化学工学セミナー」への参加や九州工業大学大学院生命体工学研究科内での共同研究講座の設置などを行っております（令和3年4月からの研究題目は以下の通り）。

企業のリソースと大学の知識との融合により、経済効果を生み出し、人々の暮らしを豊かにするとともに、より安心・安全な社会を目指してまいります。



鹿児島大学での「化学工学セミナー」の様子

■ 研究題目 1

自律制御式ロボット溶接に関する研究：
画像解析による非接触式センサ制御の
ロボット溶接技術の確立

■ 研究題目 2

溶接部の熱弾塑性解析と溶接順序の最適
化に関する研究：有限要素法及びAI
技術による溶接シミュレーション技術の
確立

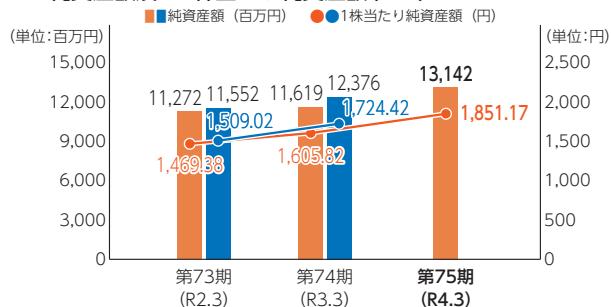


高田社長と九州工業大学 尾家学長（写真右）のトップ会談

経営指標の推移 (連結)

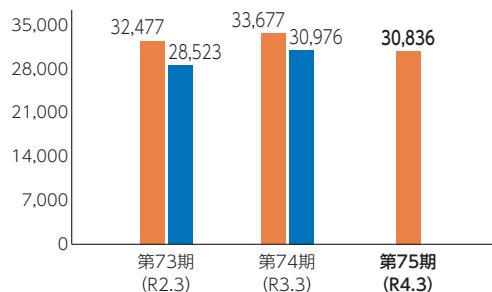
● 中間期 ● 通期

純資産額及び1株当たり純資産額 (BPS)



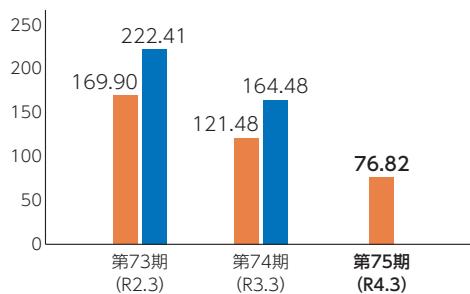
総資産額

(単位:百万円)



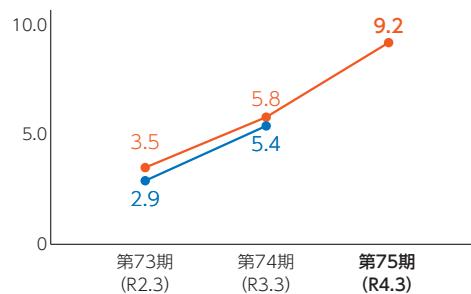
1株当たり当期純利益 (EPS)

(単位:円)



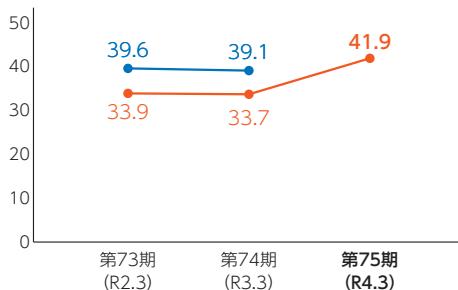
株価収益率 (PER)

(単位:倍)



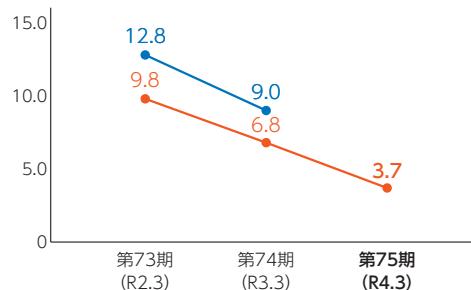
自己資本比率

(単位:%)



自己資本利益率 (ROE)

(単位:%)



計算書類 (要旨)

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目		第74期 令和3年3月31日現在	第75期 令和3年9月30日現在
	流動資産	20,795,054	20,546,807
	固定資産	10,181,184	10,289,649
ポイント1	資産の部		
	有形固定資産	7,643,437	7,936,656
	無形固定資産	367,845	318,879
	投資その他の資産	2,169,901	2,034,113
	資産合計	30,976,239	30,836,456
	流動負債	14,744,176	14,130,805
	固定負債	3,855,862	3,563,364
ポイント2	負債の部		
	負債合計	18,600,038	17,694,169
	株主資本	13,554,708	14,017,900
	資本金	3,642,350	3,642,350
	資本剰余金	1,243	1,243
	利益剰余金	9,936,081	10,399,307
	自己株式	△24,966	△25,000
ポイント3	純資産の部		
	その他の包括利益累計額	△1,427,886	△1,102,484
	その他有価証券評価差額金	△14,043	2,878
	土地再評価差額金	△769,113	△769,113
	為替換算調整勘定	△277,366	△278,350
	退職給付に係る調整累計額	△367,363	△57,899
	非支配株主持分	249,379	226,871
	純資産合計	12,376,200	13,142,287
	負債・純資産合計	30,976,239	30,836,456

ポイント1 ▶▶▶ 資産の部

資産合計は、308億3千6百万円で前連結会計年度末より、1億3千9百万円減少いたしました。減少の主な要因は、受取手形、完成工事未収入金及び契約資産等が26億3百万円、土地が3億5千1百万円増加したものの、現金及び預金が4億7千1百万円、未成工事支出金が26億5千万円減少したこと等によるものです。

ポイント2 ▶▶▶ 負債の部

負債合計は、176億9千4百万円で前連結会計年度末より、9億5百万円減少いたしました。減少の主な要因は、短期借入金が16億円増加したものの、支払手形・工事未払金等が16億4千2百万円、未払法人税等が4億1千5百万円減少したこと等によるものです。

ポイント3 ▶▶▶ 純資産の部

純資産合計は、131億4千2百万円で前連結会計年度末より、7億6千6百万円増加いたしました。増加の主な要因は、利益剰余金が4億6千3百万円、退職給付に係る調整累計額が3億9百万円増加したこと等によるものです。

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第74期 令和2年4月1日から令和2年9月30日まで	第75期 令和3年4月1日から令和3年9月30日まで
完成工事高	24,884,514	22,098,976
完成工事原価	22,287,387	19,858,949
完成工事総利益	2,597,126	2,240,027
販売費及び一般管理費	1,501,330	1,520,403
営業利益	1,095,796	719,623
営業外収益	129,048	68,356
営業外費用	39,684	58,393
経常利益	1,185,160	729,586
特別損失	93	1,034
税金等調整前中間純利益	1,185,066	728,551
法人税、住民税及び事業税	429,207	231,092
法人税等調整額	△11,349	28,991
中間純利益	767,208	468,467
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,596	△17,691
親会社株主に帰属する中間純利益	768,804	486,159

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第74期 令和2年4月1日から令和2年9月30日まで	第75期 令和3年4月1日から令和3年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,240,715	△898,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621,087	△1,036,298
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,538,653	1,463,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,298	△1,784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△304,851	△472,569
現金及び現金同等物の期首残高	2,450,808	2,548,991
現金及び現金同等物の期末残高	2,145,956	2,076,422

■ 個別貸借対照表

(単位：千円)

科目	第74期 令和3年3月31日現在	第75期 令和3年9月30日現在
流動資産	18,081,597	17,650,404
固定資産	10,417,469	10,674,079
有形固定資産	6,677,640	7,018,361
無形固定資産	366,915	317,970
投資その他の資産	3,372,914	3,337,746
資産合計	28,499,067	28,324,483
流動負債	14,489,144	13,587,304
固定負債	3,032,373	3,134,107
負債合計	17,521,517	16,721,411
株主資本	11,760,706	12,369,306
評価・換算差額等	△783,156	△766,234
純資産合計	10,977,549	11,603,072
負債・純資産合計	28,499,067	28,324,483

■ 個別損益計算書

(単位：千円)

科目	第74期 令和2年4月1日から令和2年9月30日まで	第75期 令和3年4月1日から令和3年9月30日まで
完成工事高	23,610,865	20,225,619
完成工事原価	21,079,581	18,090,463
完成工事総利益	2,531,284	2,135,155
販売費及び一般管理費	1,223,785	1,298,052
営業利益	1,307,498	837,102
営業外収益	131,298	103,462
営業外費用	38,282	54,635
経常利益	1,400,514	885,930
特別損失	93	1,034
税引前中間純利益	1,400,420	884,895
法人税、住民税及び事業税	408,724	223,556
法人税等調整額	△10,982	29,771
中間純利益	1,002,678	631,567

当社グループの概況

当社の概要

(令和3年9月30日現在)

名称	株式会社 高田工業所
英語名	TAKADA CORPORATION
本社所在地	〒806-8567 北九州市八幡西区築地町1番1号
創業	昭和15年9月26日
設立	昭和23年6月30日
従業員数	1,422名
資本金	36億4,235万円
決算期	3月

主要な事業内容

(令和3年9月30日現在)

鉄鋼、化学、石油、ガス、電力、原子力、海洋開発、都市開発、自動車、通信、新素材、バイオテクノロジー、エレクトロニクス、ガラス、食品、医薬品、物流などの各種産業設備及び水処理、廃棄物処理その他公害防止設備などに関する設計、製作、据付、配管、電気、計装及び保全・修理事業、並びにこれらに関連する事業

許認可等の状況

(令和3年9月30日現在)

建設業法 特定建設業許可	建築工事業 とび・土工工事業 電気工事業 管工事業 鋼構造物工事業 塗装工事業 機械器具設置工事業 解体工事業
建設業法 一般建設業許可	電気通信工事業 消防施設工事業
一級建築士事務所	福岡県知事登録第1-61679号
電気工事業の 業務の適正化に 関する法律	通知電気工事業者
労働安全衛生法	各種製造許可（第一種圧力容器、ボイラー、クレーン、デリック、ゴンドラ）
電気事業法	各種溶接の方法の確認
ガス事業法	各種溶接の方法の確認
高圧ガス保安法	大臣認定試験者（管類）の認定
原子炉等規制法	各種溶接の方法の認可

ホームページのご紹介

最新ニュースや会社情報、IR情報など、積極的に情報開示を行っておりますので、是非ご活用ください。



高田工業所

検索

<https://www.takada.co.jp/>



当社グループの概要

(令和3年9月30日現在)

● 連結子会社 ● 非連結子会社

プラント事業

● 高田プラント建設株式会社

- ◎ 設立/昭和56年9月1日 ◎ 資本金/20,000千円 ◎ 持株比率/100%
- ◎ 代表取締役社長/福永 博文

● 渡部工業株式会社

- ◎ 設立/昭和60年1月4日 ◎ 資本金/10,000千円 ◎ 持株比率/100%
- ◎ 代表取締役/艶島 勲

● シンガポール・タカダ・インダストリーズ・プライベート・リミテッド【シンガポール高田工業】

- ◎ 設立/昭和46年2月15日 ◎ 資本金/\$9,500千 ◎ 持株比率/100%
- ◎ MANAGING DIRECTOR/濱崎 圭介

● スリ・タカダ・インダストリーズ(マレーシア)・エスディエヌ・ビーエッチディ【高田マレーシア】

- ◎ 設立/昭和57年9月9日 ◎ 資本金/RM3,200千 ◎ 持株比率/55%
- ◎ MANAGING DIRECTOR/前田 泰男

● キクチ・インダストリー(タイランド)・カンパニー・リミテッド【菊池タイ】

- ◎ 設立/平成5年2月3日 ◎ 資本金/THB30,000千 ◎ 持株比率/48.9%
- ◎ MANAGING DIRECTOR/吉田 勝山

地域統括会社

● タカダ・コーポレーション・アジア・リミテッド【高田アジア】

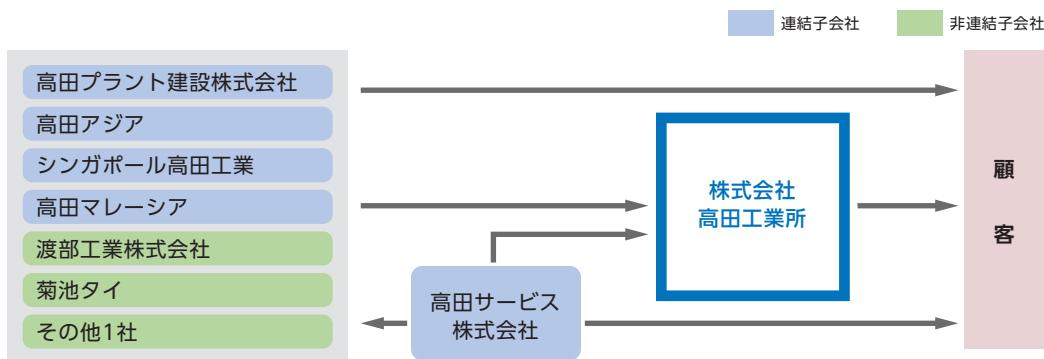
- ◎ 設立/平成24年12月25日 ◎ 資本金/THB10,000千 ◎ 持株比率/29.4%
- ◎ PRESIDENT/西村 明博

物品販売・サービス事業

● 高田サービス株式会社

- ◎ 設立/昭和57年4月1日 ◎ 資本金/65,000千円 ◎ 持株比率/100%
- ◎ 代表取締役社長/田所 弘

グループ図



当社グループの概況

役員 の 状 況

(令和3年9月30日現在)

代表取締役社長	高田 寿一郎	取締役(社外)	福田 豊彦	執行役員	岩本 健太郎
代表取締役兼専務執行役員	川上 秀二	取締役(社外)	稲葉 和彦	執行役員	安武 信一
取締役兼常務執行役員	吉松 哲夫	取締役(社外)	鳥居 玲子	執行役員	仲村 公孝
取締役兼常務執行役員	長谷川 啓司	常勤監査役	牟田 郁二	執行役員	福田 剛
取締役兼執行役員	田所 弘	常勤監査役(社外)	藤原 伸彦		
取締役兼執行役員	丸山 裕	監査役(社外)	奥村 勝美		
取締役兼執行役員	廣橋 幸一	監査役(社外)	吉 戒 孝		

ネットワーク / 関連会社

(令和3年9月30日現在)

- ・本 社
- ・営業拠点 東京支店、西日本営業部
- ・支 社 君津、京葉、中四国、八幡
- ・事業所 北海道、鹿島、四日市、長浜、大阪
- ・工場 本社、君津、四日市、長浜、水島、宇部
- ・国内子会社 高田プラント建設株式会社、高田サービス株式会社、
渡部工業株式会社
- ・海外子会社 高田アジア、シンガポール高田工業、
高田マレーシア、菊池タイ

国内ネットワーク



海外ネットワーク



株式の状況

(令和3年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	41,383,800株
	優先株式	10,000,000株
	B種株式	5,000,000株
	D種株式	4,000,000株
	E種株式	1,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	7,220,950株
	優先株式	
	B種株式	1,500,000株
株 主 数	普通株式	2,337名
	優先株式	
	B種株式	1名

大株主（上位10名）

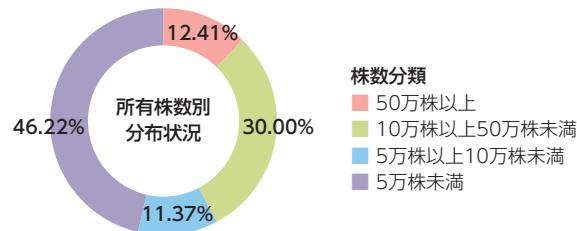
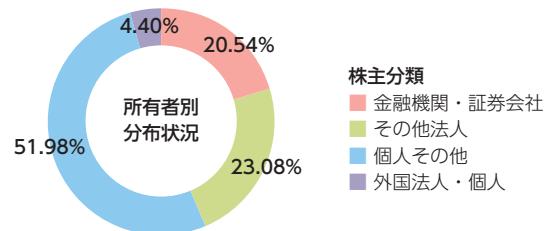
株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社福岡銀行	1,812	23.15
西日本興産株式会社	785	10.03
日本製鉄株式会社	404	5.17
高田工業所社員持株会	354	4.53
株式会社三菱UFJ銀行	281	3.60
INTERACTIVE BROKERS LLC	191	2.44
光通信株式会社	119	1.53
株式会社みずほ銀行	119	1.52
蒲生 逸郎	115	1.47
株式会社SBI証券	85	1.09

(注) 1. 当社は、自己株式を892,301株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

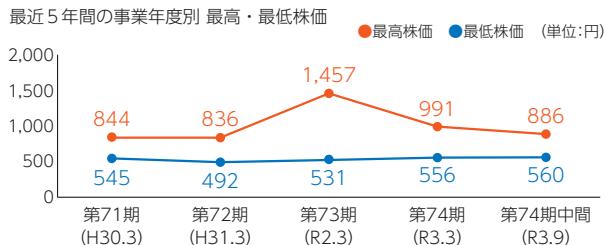
3. 株式会社福岡銀行が保有する当社株式には、優先株式（B種株式）1,500,000株が含まれております。なお、本優先株式は議決権を有しておりません。

株式の分布状況（普通株式）



(注) 当社は、自己株式を892,301株保有しておりますが、上記分布状況は、自己株式を控除して算出しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬開催
1単元の株式の数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-232-711
公告の方法	電子公告 https://www.takada.co.jp/ なお、やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた します。
上場証券取引所	東京証券取引所 福岡証券取引所

株式事務手続き

株式に関するお手続きの方法は以下のとおりとなっております。

住所変更などのご連絡について

- 証券会社の口座を利用されている株主様
お取引口座のある証券会社にご照会ください。
- 特別口座に記録されている株主様
上記の三菱UFJ信託銀行にご照会ください。

配当金のお支払について

配当金は、支払開始の日から満3年（除斥期間）を経過しますと、当社定款規定により、お支払できなくなりますので、お早めにお受取りください。未払配当金の支払のお申出は、上記の三菱UFJ信託銀行にご照会ください。

また、配当金領収証でのお受取りやご指定の振込口座にてお受取りいただく方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様が保有しているすべての銘柄の配当金をお受取りいただく方法や、証券会社の口座にてお受取りいただく方法もご選択可能です。詳しくはお取引口座のある証券会社にご照会ください。

■単元未満株式を保有されている株主様へ

単元未満株式（100株未満の株式）をお持ちの場合、当社に対して以下の請求を行うことができます。

◎単元未満株式の買取りの請求（買取請求） ◎単元株式に不足する数の株式の買増の請求（買増請求）

お手続きの詳細につきましては、証券会社の口座を利用されている株主様は証券会社に、また、特別口座に記録されている株主様は三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。

■マイナンバーのお届出について

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続き（支払調書の税務署への提出）で必要となります。

マイナンバーのお届出につきましては、証券会社の口座を利用されている株主様は証券会社に、また、特別口座に記録されている株主様は三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。

